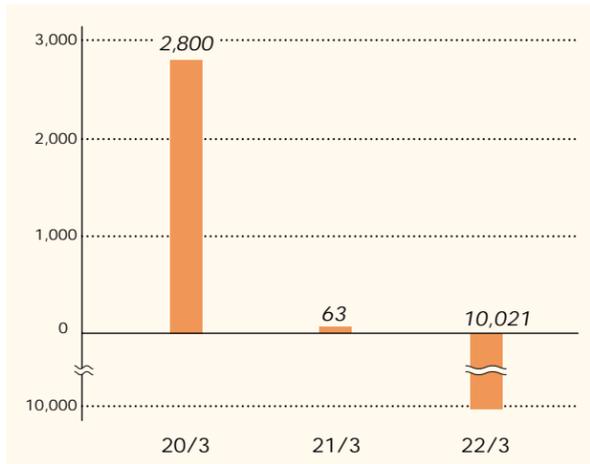


連結ベース

損益状況 (単位:百万円)

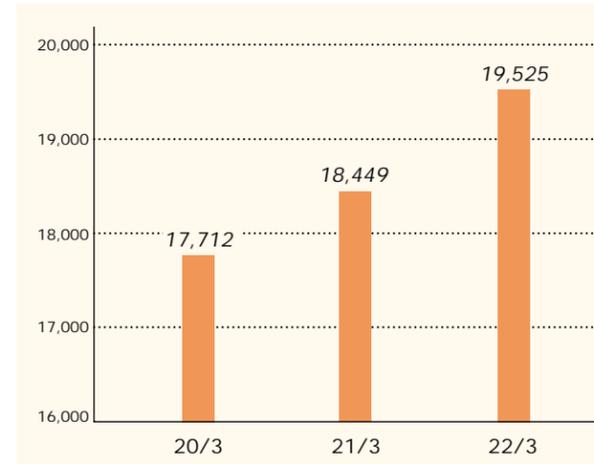
科目	平成20年度	平成21年度	前年同期比
経常収益	59,052	52,278	6,774
経常費用()	59,346	50,989	8,357
経常利益	293	1,288	1,581
与信関連費用()	9,726	7,862	1,864
当期純利益	63	10,021	10,084

当期純利益 (単位:百万円)



単体ベース

預金残高 (単位:億円)



個人預金 (単位:億円)

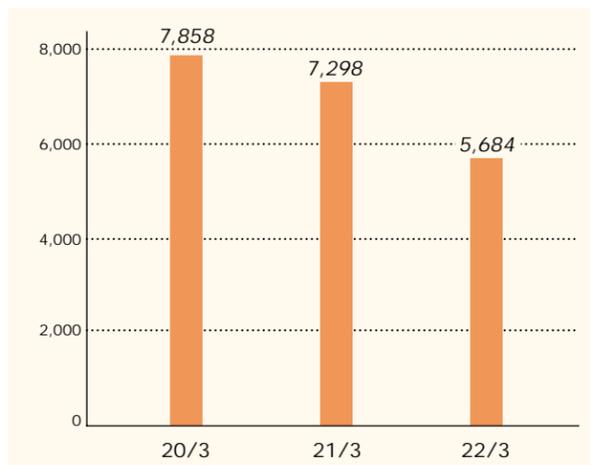


単体ベース

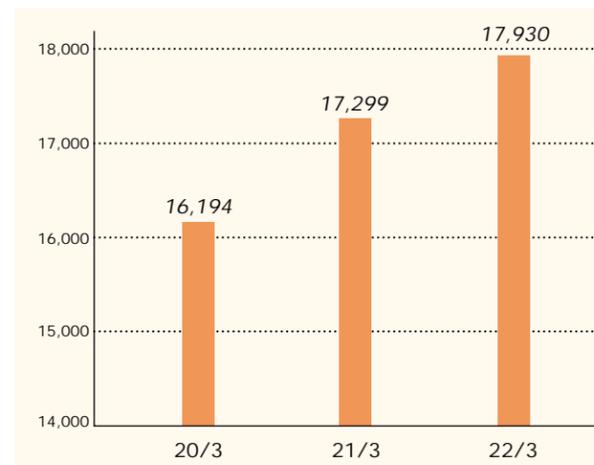
損益状況 (単位:百万円)

科目	平成20年度	平成21年度	前年同期比
業務粗利益	32,700	30,890	1,810
資金利益	33,534	30,536	2,998
役員取引等利益	1,254	1,927	673
その他業務利益	420	2,280	1,860
経費()	24,800	25,206	406
うち人件費()	12,010	12,285	275
うち物件費()	11,682	11,721	39
コア業務純益	8,072	3,948	4,124
業務純益	7,298	5,684	1,614
経常利益	32	1,991	2,023
与信関連費用()	4,819	1,478	3,341
当期純利益	169	11,741	11,910

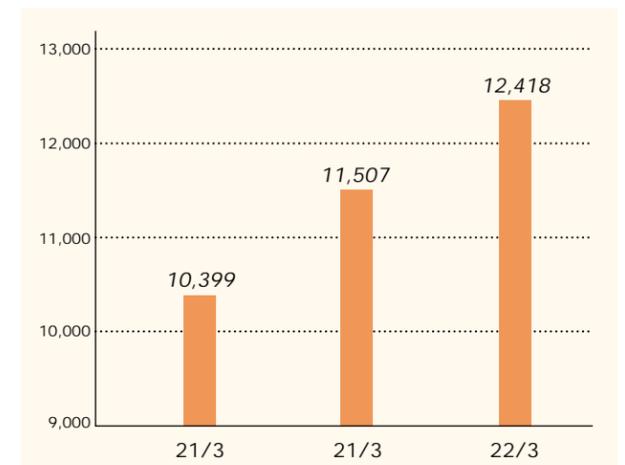
業務純益 (単位:百万円)



貸出金残高 (単位:億円)



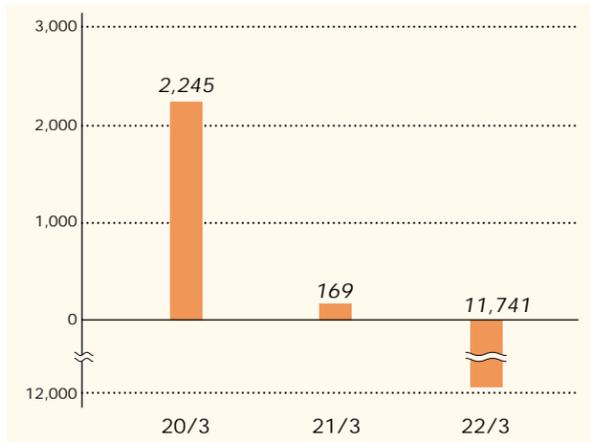
住宅ローン (単位:億円)



コア業務純益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



業績の概要

(損益の状況)

当連結会計年度の経営成績は、経常収益が522億78百万円となり、前連結会計年度に比べ67億74百万円の減収となりました。主な要因は、貸出金や有価証券利回りの低下による資金運用収益や株式等売却益の減少によるものであります。一方、経常費用は資金調達費用や債務担保証券(CDO)の区分処理損の減少に加え、不良債権処理額が減少したことにより、前連結会計年度に比べ83億57百万円減少し、509億89百万円となりました。この結果、経常利益は12億88百万円(前連結会計年度は2億93百万円の経常損

失)となりました。なお、当連結会計年度の当期純損失は、当行単体において、将来の収益計画について実現性のあるより慎重な見積もりを行ったことによる繰延税金資産の取崩しにより、100億21百万円(前連結会計年度は63百万円の当期純利益)となりました。

当行単体のコア業務純益は、資金利益や役員取引等利益の減少に加え経費の増加により、前年同期比41億24百万円減少の39億48百万円となりました。なお、経常損失は株式関係損益の減少により、19億91百万円(前年度は32百万円の経常利益)、当期純損失は